

# 据付説明書

品番 JIC-A1

お買い上げまことにありがとうございました。

- この電磁調理器は、据付キャビネット（流し台、調理台、キッチンユニット、専用架台など）に据え付けて、使用していただくものです。
- 電気工事店または施工主の方は、据え付け前に、この据付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みになり、正しく据え付けてください。据え付け後、据付説明書と取扱説明書と保証書はお客様にお渡しく下さい。
- 養生シートは周辺の工事が終了するまではがさないでください。

## 安全上のご注意

**警告** **!** 定格15A以上の専用コンセントで

**定格15A以上のコンセントを単独で使う**

- タコ足配線をするコンセント部が異常発熱して発火の原因になります。

**注意** **!** 禁止

**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしない**

- コードが傷つくと、火災・感電の原因になります。
  - 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。
  - また、結んだり、踏みつけたり、はさみこんだり、加工したりしない。
  - コードの上に重いものをのせない。
- ※熱器具にコードを近づけないでください。
- ※コードを据付キャビネットの側面に穴をあけて通す場合、穴でコードが傷つかないように保護してください。

**据え付け工事の前に**

- 電気工事をしてください。工事は、電気工事士の免許を持っている方がしてください。
- お客様自身では、絶対に据え付け工事をしないでください。

**専用コンセントの設置場所について**

- コンセントは据付キャビネット内の目に見える所で、お客様が電源プラグを持って抜き差しできる場所に設置してください。

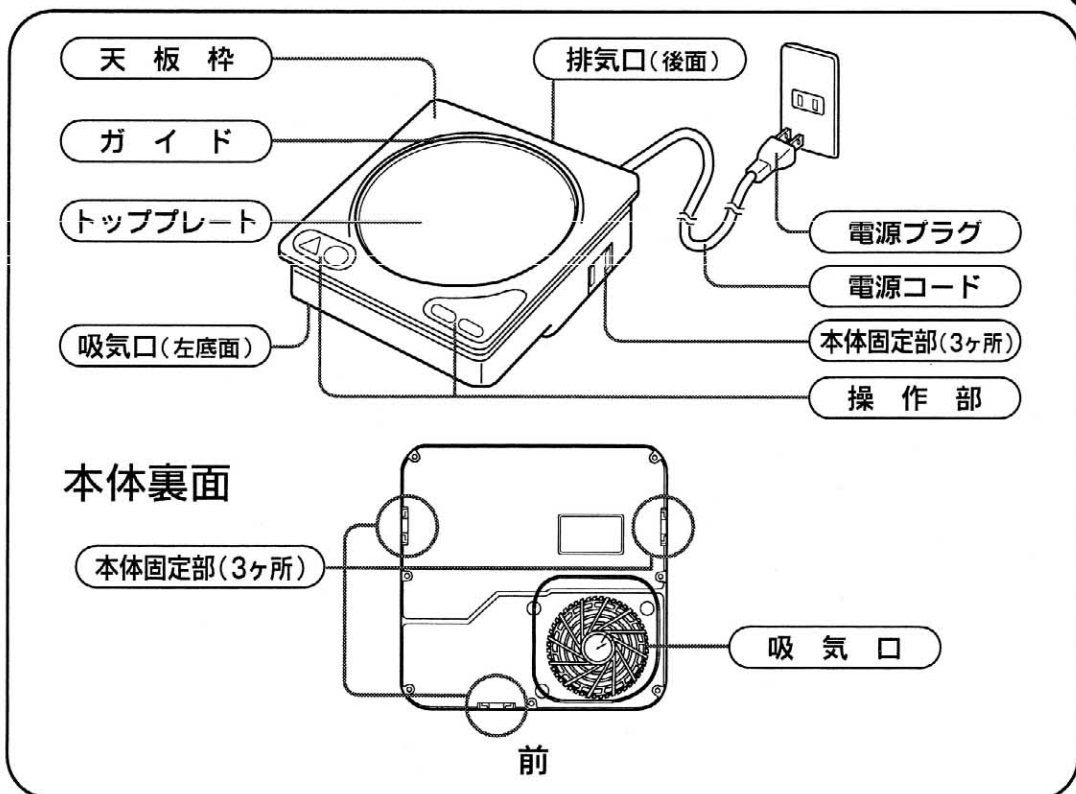
**漏電しゃ断器の設置について**

- 安全のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。
- 定格電圧100V、定格15A、感度電流30mA、動作時間0.1秒以内のものを使用してください。

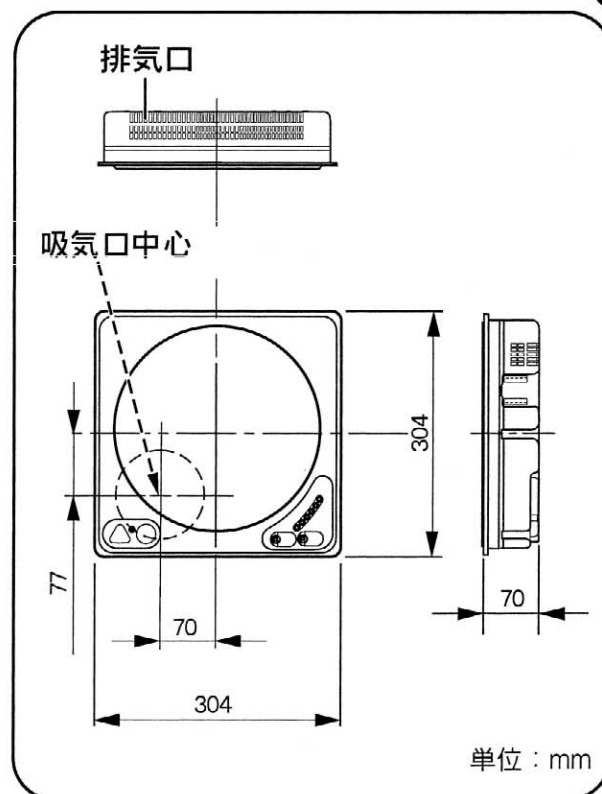
**流し台に据え付けるとき**

- 製品の金属部が流し台などの金属部と接触するときは、流し台の金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）と接触しないように処置してください。

## 各部のなまえ



## 寸法図



## 付属品（ご確認ください）

<p>本体固定金具</p> <p>小3個 大3個</p>	<p>本体固定ネジ</p> <p>M4 チョウボルト 3本</p>	<p>シールテープ</p> <p>2本</p>	<p>両面テープ</p> <p>1本</p>	<p>しきり板</p> <p>1個</p>	<p>バッキン（リップのある天板用）</p> <p>4個</p>
------------------------------	-----------------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	----------------------------------

## 据え付け場所



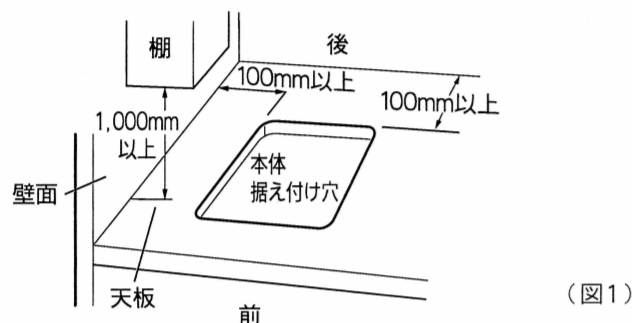
**注意** 禁止

水のかかる所や火気の近くでは使用しない

●感電や漏電の原因になります。  
※本体内部の温度が上がりすぎ、故障の原因になります。

下記のような所へ、据え付ける

- 吸気温度が、常時35°C未満の所。
  - 製品に、水がかからない所。
  - 吸気口が高温・多湿の空気に、さらされない所。
  - 吸・排気が確実にできる所。
- 据付キャビネットの空気吸込口や、空気排出口が障害物から80mm以上離れている所。
- 可燃性の壁（木壁など）から左右100mm以上、後側100mm以上離れている所。防火構造壁の場合は、その限りではありません。
  - 上方の棚などから、1,000mm以上離れている所。（図1）

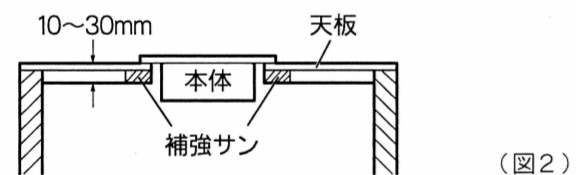


## 天板について

- 天板には本体の重さ（約3.2kg）となべ、内容物の重さが加わります。
- 天板の厚みは、10~30mmとしてください。10mm以下の場合にはサンをほどこして厚みを確保してください。
- 十分な強度の天板をお使いください。

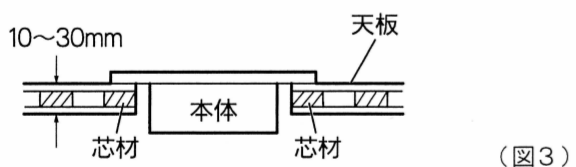
### ステンレスなどの場合

- 強度が弱いときは、サンなどで補強してください。



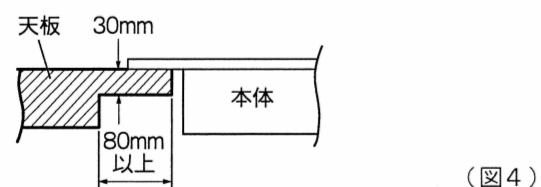
### フラッシュ構造（中空構造）の場合

- 本体を受ける位置に、必ず芯材がくるようにしてください。



### 木材（ムク）の場合

- 天板の板厚が30mm以上のときは、吸気口や排気口側の天板を加工してください。

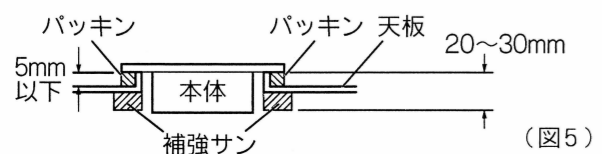


<加工のしかた>

本体据え付け穴から80mm以上の部分の板厚が、30mmになるように削ってください。

### 天板に立ち上がりのリブがある場合

- 強度が弱いときは、サンなどで補強してください。
- 付属のパッキンを使ってください。（リブの立ち上がり寸法5mm以下、4コーナーR15~30mmの天板用）



## 据え付け手順

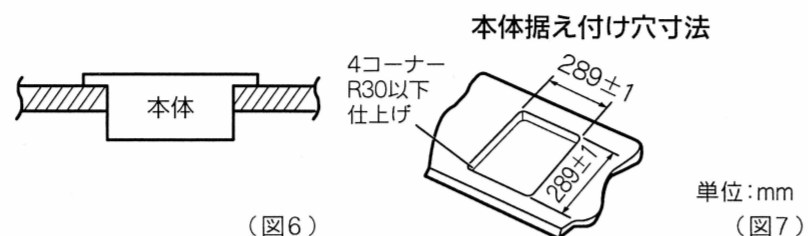
ご注意

- 据え付け中は、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 本体を据え付ける前に4ページ「据え付け位置と吸・排気」を確認してください。

本体据え付け穴型紙（下記点線）

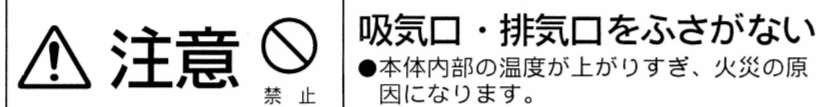
### 1 天板に本体据え付け穴をあける

- 本体据え付け穴型紙をご利用ください。



### 2 空気吸込口・排出口をあける

- あけかたは4ページ「据付キャビネットの空気吸込口と空気排出口」を参照。



**注意** 禁止 吸気口・排気口をふさがない

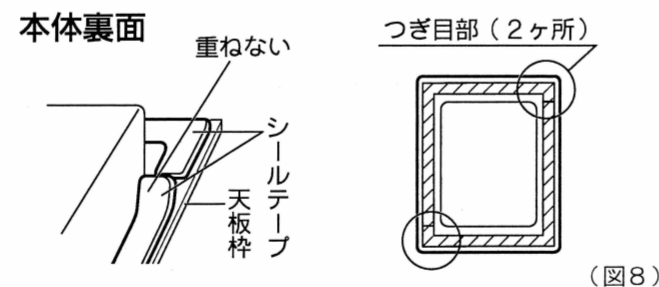
●本体内部の温度が上がりすぎ、火災の原因になります。

### 3 防水処理をして、本体を据え付ける

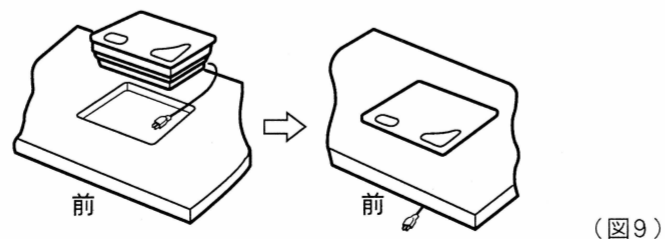
- 天板と天板枠の間から本体内に水が入らないように防水処理をします。
- 天板の据え付け穴周辺や天板枠の裏面のゴミ、汚れ、水分、油分をきれいに取ってください。

しきり板の位置

- ① 付属のシールテープ（2本）の裏紙をはがして、天板枠の裏面に貼ります。シールテープのつぎ目部は、すき間がなく、重ならないようにしてください。（図8）直線部分は、天板枠の内側にそって貼ってください。4ヶ所のコーナーは、シールテープを据え付け穴のRに合わせて貼ってください。



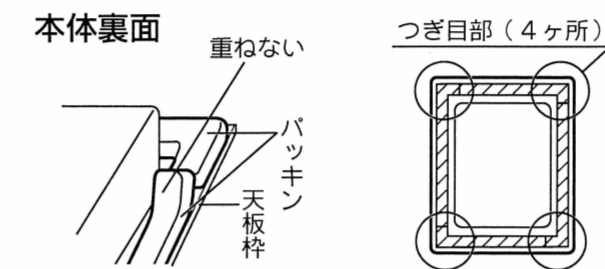
- ② シールテープを貼った後、その外側の天板にシリコーンゴム（信越化学製 KE44、または同等品）を塗ります。
- ③ 電源コードを据え付け穴に通した後、本体を（図9）のようにはめ込みます。



- ④ 天板枠からはみだしたシリコーンゴムをきれいにふきとってください。糊着してからはカッターナイフなどで取ってください。

### 天板に立ち上がりのリブがある場合

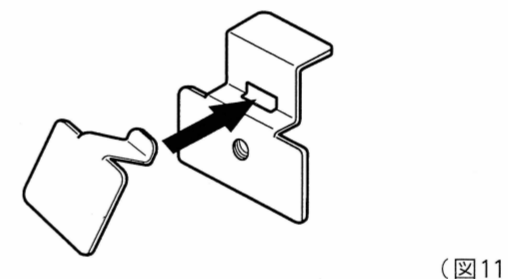
- 据付キャビネットの天板に立ち上がりのリブがある場合は、付属のパッキンを使って据え付けてください。（リブの立ち上がり寸法5mm以下、4コーナーR15~30mmの天板用）
  - パッキンを使われたときは、シールテープやシリコーンゴムは不要です。
- ① 付属のパッキン（4本）の裏紙をはがして、天板枠の裏面に貼ります。パッキンは天板枠外周にそって、1本ずつ貼ってください。パッキンのつぎ目部は、すき間がなく、重ならないようにしてください。4ヶ所のコーナーは、パッキンを天板枠のRに合わせて貼ってください。



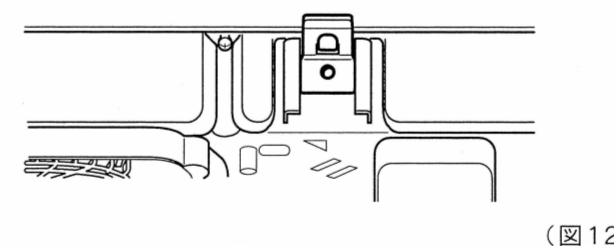
- ② 電源コードを据え付け穴に通した後、本体を（図9）のようにはめ込みます。

### 4 本体の固定

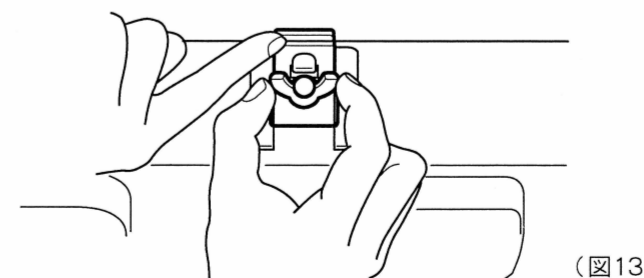
- 付属の本体固定金具と本体固定ネジを使って本体を固定します。
- ① 付属の本体固定金具小の引っかけ部分を、本体固定金具大の四角の穴へ通す。



- ② 本体側面にある3ヶ所の固定部に①の本体固定金具を下から差し込みます。そのとき本体固定金具の大が外側になるように差し込んでください。



- ③ 指で本体固定金具を上を押して、天板（補強サンのある場合はサン）にあてながら、本体固定ネジをネジ穴に差し込み、締めます。



### 5 吸・排気を分離し、底板を取り付ける

- 分離方法は4ページ「据付位置と吸・排気」を参照。
- 4ページの（図19）のような底板を取り付けてください。
- 底板は施工後に取りはずしが可能な構造にしてください。

### 6 電源の接続

- 電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。

### 7 工事終了後の確認

- 据え付け工事終了後、次の手順で確認しチェック欄に丸印を付けてください。

#### 付属品の取り付け

付属品の取り付け	チェック
本体固定金具、本体固定ネジ	
シールテープまたはパッキン	
しきり板	
両面テープ	

#### 吸・排気

しきり板が本体や底板に確実に接触し、吸気と排気が確実にしきられていますか？

#### 外観

トッププレートはきれいですか？

#### 電源・動作

電源は100Vですか？

専用コンセントは、電源プラグが簡単に抜き差しができる位置にありますか？

水を入れた鉄なべをのせて、入キーを押してください。

▶ ランプがつき、加熱を始めたか？

※なべをのせずに入キーを押すと、保護機能が働いて約1分後に加熱が止まります。

各キーを押してください。

▶ 動作していますか？

- 電源・動作を確認した後は、必ず切キーを押して、電源プラグを抜いてください。

- 専用コンセントの位置をお客様に説明してください。

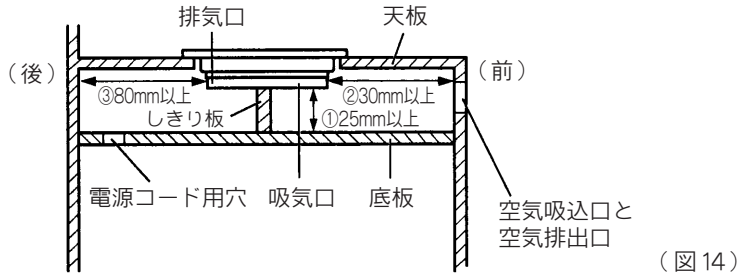
- 据え付けキャビネットの空気吸込口・空気排出口の位置をお客様に説明してください。

工事終了  
確認者印

# 据え付け位置と吸・排気

## 据え付け位置と吸・排気

- ① 本体吸気口と据付キャビネット底板の間…… 25mm以上
- ② 本体吸気口と据付キャビネット壁面の間…… 30mm以上
- ③ 本体排気口と据付キャビネット壁面の間…… 80mm以上



## 据付キャビネットの空気吸込口と空気排出口

- 据付キャビネットの前面に空気吸込口と空気排出口を開けてください。
- 空気吸込口と空気排出口の間は、20mm以上としてください。
- 空気吸込口と空気排出口の有効開口面積は50cm<sup>2</sup>以上としてください。

## 油煙やほこりが多いところで使われるとき

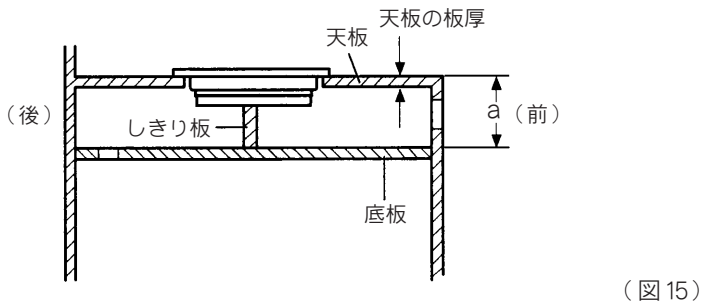
- フィルターを取り付けてください。

## 吸・排気分離用しきり板

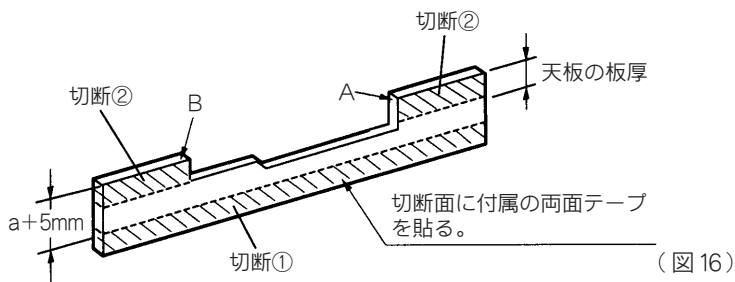
- 付属のしきり板で必ず、吸・排気分離をしてください。
- しきり板は据付キャビネットの内部に合わせて切断して、お使いください。

① (図15)で示すa寸法に5mm加えた寸法をしきり板の上端から計り、余分を切る。切断①(図15)

a寸法：天板上面から底板上面までの高さ

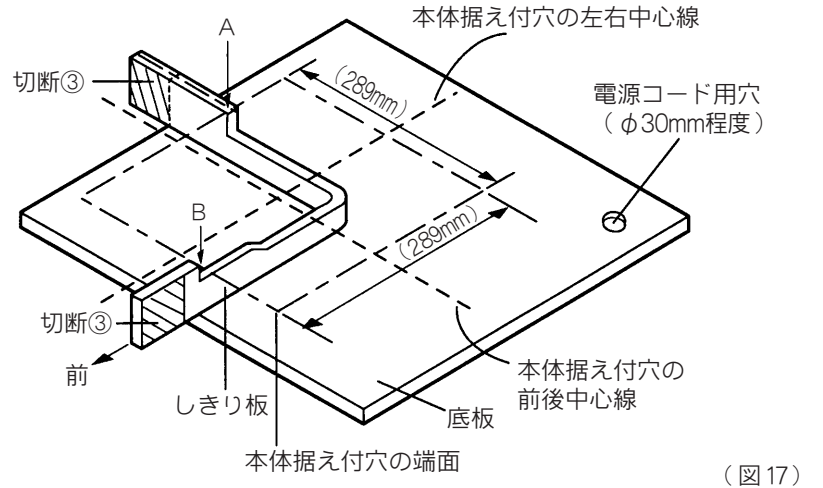


- ② 天板の板厚寸法をしきり板の上端から計り、その部分を切る。切断②
- ③ しきり板の下の切断面に両面テープを貼る。



## しきり板を底面に貼り付ける

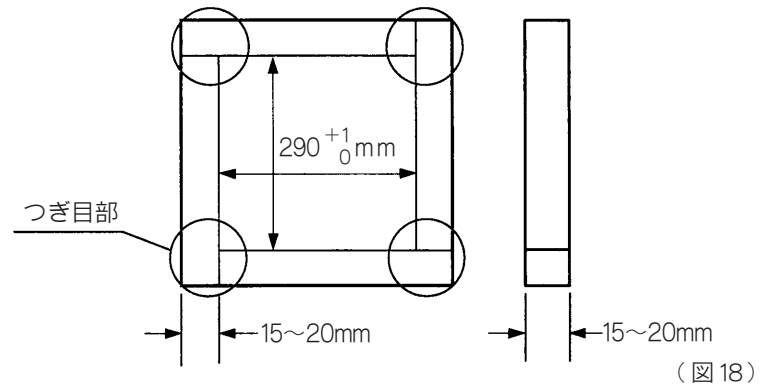
- 底板を据付キャビネット内に取り付けたとき、本体の真下になる部分の底板にしきり板を貼り付けます。
- ① 底板に本体据え付け穴型紙をあて、しきり板の位置を正確にうつす。
- ② しきり板のA、Bを本体据え付け穴のA、Bに合わせて貼り付ける。
- ③ 底板からはみ出したしきり板を切る。切断③



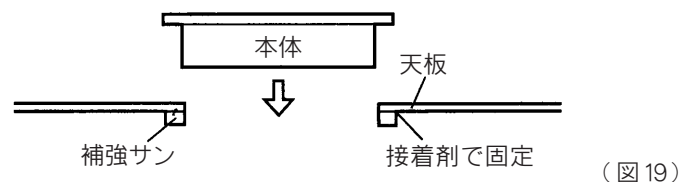
- 底板に電源コードを通すときは、直径30mm程度の穴または、切り欠きを開けてください。穴でコードが傷つかないように保護してください。
- 据付キャビネット内に取り付ける底板や側板は、不燃材または防火処理をほどこしたものをお使いください。

# ステンレス製流し台の補強工事について

- ステンレスの天板は強度が弱いので補強工事が必要です。必ず天板裏面に補強サンを取り付けてください。
  - ① 補強サンは幅：15mm～20mm、厚み：15mm～20mmの木材を使用し、(図18)の様に仕上げてください。
- つぎ目部は、すき間がないように接着剤などで、貼ってください。
- 補強サンは天板に貼り付ける接着面が水平になるように組み立ててください。



- ② 天板にある本体据え付け穴の開口部分の裏面に、補強サンを接着剤などでしっかりと貼り付けます。



- 補強サンの接着面は水平にしてください。凹凸があるとすき間から水が入り、製品の故障の原因になります。